

## 令和4年度 全国山岳遭難対策協議会開催概要

### 1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

### 2 主 催 スポーツ庁

共 催 環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

### 3 期 日 令和4年7月15日（金）

### 4 会 場 文部科学省 3階講堂 及び オンライン開催

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電 話 03-5253-4111 [内線3939]

FAX 03-6734-3792

※オンライン参加のURLは、別途連絡

### 5 参加者 会場定員：350名程度（オンライン参加定員は上限を特に設けない）

- (1) 各都道府県教育委員会の関係者
- (2) 高等学校登山部(山岳部)、高等専門学校山岳部、大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）
- (3) 各都道府県山岳遭難救助組織(都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等)の関係者、各都道府県山岳連盟(協会)の関係者
- (4) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者
- (5) その他山岳団体関係者

※参加希望者多数の場合は各主催団体において調整することとする

#### 会場参加枠配分（目安）

	講師	主催者事務局	環境省	警察庁	消防庁	日山協	報道	スポーツ他
令和4年	8	20	10	60	150	45	4	55
※令和元年	8	20	10	60	150	45	4	55

6 内容

9:30 ~	受付	
10:00 ~10:10	開会式	
10:15 ~10:55 (40分)	報告Ⅰ	「令和3年における山岳遭難の概況について」 警察庁生活安全局生活安全企画課地域警察指導室 課長補佐 赤嶺 旨一氏
10:55 ~11:35 (40分)	報告Ⅱ	「阿蘇広域消防本部における阿蘇山域山岳事故の対応について」 阿蘇広域行政事務組合消防本部特別機動救助隊統括隊長 消防司令 中村 定和氏
11:35 ~12:20 (45分)	講演	「山岳遭難の特徴と関西における減遭難活動事例の紹介」 日本山岳・スポーツクライミング協会 理事 青山 千彰氏 大阪府南河内農と緑の総合事務所 みどり環境課 課長 岩本 浩
12:20 ~13:20 (60分)	昼休憩	
13:20~17:10 (230分)		「with コロナから after コロナへ向けた登山様式と減遭難～未組織（未経験）登山者への情報発信～」 参加者一人一人が「with コロナ、after コロナを意識した登山様式と減遭難への取り組みを持ち帰り実践する。」
13:20 ~13:40 (20分)	講義	「全体導入」 ・新型コロナが浮彫りにした課題は何か（感染対策のため、複数やチームでの登山ではなく単独での登山者が増えている？県内の低山ハイキングは増えている？未組織登山者や未経験登山者の増加は事実であるか） 講師：村越 真氏（静岡大学教授）
13:40 ~14:20 (40分)	講演①	登山者ビッグデータから導く「道迷い遭難ゼロ」への道 ・コロナ前後で登山様式はどう変わったか？ ・道迷いをゼロにした事例紹介 講師：小野寺 洋氏（株式会社ヤママップマーケティング戦略本部長） 村越 真氏（静岡大学教授）
14:20 ~15:00 (40分)	講演②	「コロナ禍における山岳遭難事故から分かったこと」 ・群馬県内の登山者の動向や様子 ・群馬県での救助事例に関して 講師：平林 徹也氏（群馬県警察本部地域課警部・群馬県警察山岳捜索救助隊長） 村越 真氏（静岡大学教授）

15:00 ～15:10 (10分)	小休憩	
15:10 ～15:50 (40分)	講演③	「道迷いと登山道整備」 ・道迷い発生と登山道整備の因果関係 ・コロナ禍における登山道整備 講師：久保田 賢次氏（日本山岳救助機構研究主幹） 村越 真氏（静岡大学教授）
15:50 ～16:05 (15分)	ワークショップ形式	「ワークショップ問題提起」 ・パネラーの発表を元に各自で課題等を考える。 講師：村越 真氏（静岡大学教授）
16:05 ～16:10 (10分)	小休憩	会場セッティング
16:15 ～17:00 (45分)	ディスカッション形式	「参加者からの課題提起等を、パネラーが考察する」 講師：村越 真氏（静岡大学教授）
17:00 ～17:10 (10分)		まとめ、講評等 講師：村越 真氏（静岡大学教授）
17:10 ～17:25	閉会式	

※講演者・内容は変更となる可能性もあります

## 7 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、令和4年7月5日（火）までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所属	申込先 メールアドレス	担当所属	担当者
1	警察庁関係者	<a href="mailto:o.kiyonaga.fv.ts@npa.go.jp">o.kiyonaga.fv.ts@npa.go.jp</a>	警察庁 生活安全局 生活安全企画課	清永 修己
2	環境省関係者	<a href="mailto:koen_prize@env.go.jp">koen_prize@env.go.jp</a>	環境省 自然環境局 国立公園課	塩野目 望
3	気象庁関係者	<a href="mailto:jma_bousai@met.kishou.go.jp">jma_bousai@met.kishou.go.jp</a>	気象庁 総務部 企画課	岡本 知也
4	消防庁関係者	<a href="mailto:fdma.kyuujo@soumu.go.jp">fdma.kyuujo@soumu.go.jp</a>	消防庁 国民保護・防災部参事官付	宮嶋 大
5	山岳団体関係者	<a href="mailto:hirokawa@jma-sangaku.or.jp">hirokawa@jma-sangaku.or.jp</a>	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	廣川 厚子
6	1～5以外	<a href="mailto:kensport@mext.go.jp">kensport@mext.go.jp</a>	スポーツ庁 健康スポーツ課	塚本 鷹秀